

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療情報処理演習 Exercise in Medical Information Processing		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (ICDコーディング及び医療事務技能審査試験を受験する場合は必ず履修すること。)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
介護保険実務論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
請求実務演習、医療秘書、医事コンピュータ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	講義棟 2F	木・金・土 (授業・会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要 ICDコーディング及び医療事務技能審査試験対策授業である。				
授業の到達目標 ICDコーディング検定及び医療事務技能審査試験の受験資格を得ることができるようにする。				
授業の方法 検定試験を想定した時間配分で過去問題や、オリジナル予想問題を中心に学習し検定合格を目指す。				
学習の成果 ①DPCに必要なコーディングの基本を習得することができる。 ②ICDコーディング及び医療事務技能審査試験に必要な知識を習得することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ICDコーディング検定対策 ①			
第2回目	ICDコーディング検定対策 ②			
第3回目	ICDコーディング検定対策 ③			
第4回目	ICDコーディング検定対策 ④			
第5回目	ICDコーディング検定対策 ⑤			
第6回目	医療事務技能審査試験対策 外来①			

第7回目	医療事務技能審査試験対策 外来②	
第8回目	医療事務技能審査試験対策 外来③	
第9回目	医療事務技能審査試験対策 入院①	
第10回目	医療事務技能審査試験対策 入院②	
第11回目	医療事務技能審査試験対策 入院③	
第12回目	応用問題 I	
第13回目	応用問題 II	
第14回目	応用問題 III	
第15回目	まとめと試験	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	演習問題に積極的に取り組んでいる。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
中間・学期末試験	60%	学期末試験を実施し、授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他	20%	検定試験の可否で加点する。
教科書と参考図書		
配布資料、各問題集、電卓		
履修上の心得・ルール		
検定試験直前の対策授業なので、一日一日目標を持って取り組むこと。 ICDコーディング及び医療事務技能審査試験を受験する場合は必ず履修すること。		